

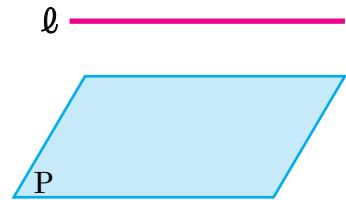
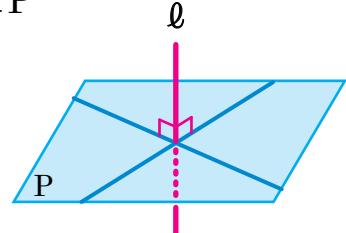
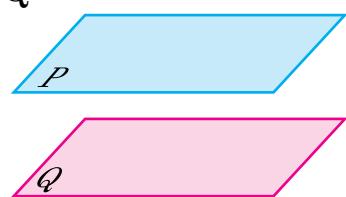
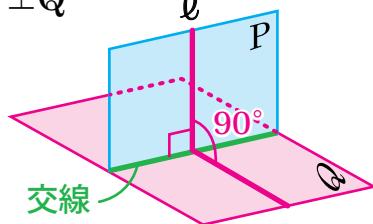
いろいろな立体(3)

直線と平面の位置関係

直線 ℓ と平面Pが交わらないとき、直線 ℓ と平面Pは平行であるといい、 $\ell \parallel P$ と表す。

直線 ℓ と平面Pが1点で交わり、その点を通る平面P上のすべての点と垂直に交わるとき、直線 ℓ と平面Pは垂直であるといい、 $\ell \perp P$ と表す。

平面は2本の直線で1つに決まるので、直線 ℓ が平面P上の2本の直線と垂直であることを示せば、直線 ℓ と平面Pが垂直であることを証明することができる。

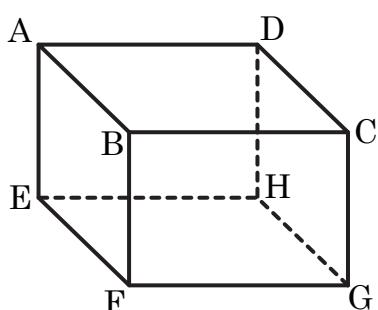
 $\ell \parallel P$  $\ell \perp P$  $P \parallel Q$  $P \perp Q$ 

平面と平面の位置関係

2つの平面PとQが交わらないとき、平面Pと平面Qは平行であるといい、 $P \parallel Q$ と表す。

2つの平面PとQが交わるときにできる直線を交線といふ。また、平面Pに垂直な直線lを平面Qがふくむとき、平面Pと平面Qは垂直であるといい、 $P \perp Q$ と表す。

【1】下の図の直方体について、次の問い合わせに答えなさい。



(1) 直線ADとねじれの位置にある直線は何本ですか。

答え 4本

(2) 直線ABと平行な面をすべて答えなさい。

答え 面EFGH, 面CDHG

(3) 直線ABと垂直な面をすべて答えなさい。

答え 面ADHE, 面BCGF

(4) 平面CDHGと平行な直線をすべて答えなさい。

答え 直線AB, 直線EF, 直線AE, 直線BF